



**黒**目川は埼玉県朝霞市で新河岸川に合流する荒川水系の一級河川です。

平成14(2002)～19(2007)年に朝霞市を貫流する区間の一部(東武東上線鉄橋より上流1.7kmの区間)において河川改修が実施されました。この河川改修は、人口の密集する都市域において河川と流域の両面で治水安全性を図る総合治水対策特定河川事業の一環として埼玉県が実施したものです。

埼玉県による初期の改修計画では、両岸に堤防を設けた河道横断面が検討されていました。しかし、黒目川両岸にあるサクラ並木の保全を求める住民の意見を踏まえ、河川改修計画を再検討する「黒目川改修策定委員会」が設置され、行政、市民の合同による改修計画の見直しが行われることとなりました。変更案では、河床全体を掘り下げ、堤防盛土のない河道とすることで、サクラ並木の保全を図ることとしました。

河川改修の結果、主に3つの効果が確認されています。1つは河川改修以前の蛇行した河道を保全・再生させた河床掘削の実施やコンクリート護岸を一部撤去したことにより、湧き出す地下水の量が増加するとともに、水際植生の水質浄化作用によって水質が改善されたこと。2つ目は瀬や淵等の複雑な流れにより生

息魚類が多様化、緩やかな勾配を持つ河岸で多様な植生の生育環境(エコトーン)が形成されたこと。そして3つ目が河原の保全・再生、沿川の通路整備により、川遊び、沿川の散歩、ジョギング等を楽しむ市民が増加したこと。

近年、朝霞市主催により、地域の春の一大イベントの会場や憩いの場として多くの人々に親しまれています。また、荒川、新河岸川を經由しアユの遡上が確認されており、太公望の姿も見られるようになってきました。



桜祭り